

審査の結果の要旨

氏名 金森 将吾

本研究では、低・中所得国の保健医療施設への5S導入の適用性を示すために、(1)文献レビュー、(2)準実験的研究、(3)質的研究—を実施した。文献レビューでは、高所得国と低・中所得国の保健医療施設での5S実施に関する先行研究を検索し、該当する15研究を詳細に分析した。準実験的研究では、セネガル東部地域のタンバクンダ、ケドゥグ両州の8か所の保健センターを4介入施設と4コントロール施設に分けて、5S導入によるサービス利用者（患者、付添人）の満足度へのインパクトを測定した。利用者満足度スコアの測定には、5段階リッカート尺度による10項目の質問への回答の均等加重平均を用いた。質的研究では、タンバクンダ州の1か所の保健センターへの5S導入後に、21人の保健センター職員に個別インタビューを行い、保健医療サービスにどのような変化が起きたかを分析した。主な結果は以下のとおりである。

1. 文献レビューで分析対象とした15研究のうち、10研究で5S実施による保健医療サービス向上への何らかのインパクトが示されており、それらのインパクトは、サービスの安全性、サービスの効率性、患者中心のサービスに関連するものだった。しかしながら、先行研究の5Sの効果実証はすべて前後比較で行われており、介入群とコントロール群を用いた科学的手法による研究は存在しなかった。更に、5Sはセネガル、スリランカ、タンザニアといった低・中所得国で、政府の保健医療サービス向上のための戦略の一つとして取り入れられていることが示された。
2. 準実験的研究では、ステップワイズ法による線形回帰分析 ($n=1,928$) から、5S導入による効果として、5S実施から6~8ヵ月後の介入施設での利用者満足度スコアが0.19ポイント、有意に上昇したことが示された ($p=0.014$)。利用者満足度測定のための10項目それぞれのリッカートスコアの線形回帰分析から、医療従事者のコミュニケーション、医療従事者による疾患の説明、診察の長さ、利用者の満足度の4項目について、それぞれ0.44ポイント ($p=0.002$)、0.14ポイント ($p=0.002$)、0.06ポイント ($p=0.019$)、0.17ポイント ($p=0.044$) と、介入による有意な上昇が見られた。
3. 質的研究では、個別インタビューを行った21人の保健センター職員から、5S導入により、不要な物品の減少、整然さの向上、ラベル付けや標識の改善といった職場環境の変化が起こったことが示された。同時に、これらの職場環境の変化により、保健医療サービス向上（サービスの安全性、サービスの効率性、患者中心のサービス）がもたらされたことが示唆された。また、5S導入による、職員の意識や態度の変化（5S意識向上、職員同士の協力、物品のリサイクル、仕事外での5S実施）が示された。その他、患者が施設の清掃に自発的に参加するようになるなど、患者の意識や態度の変化についても挙げられた。保健センターのサービス改善提案としては、21人の職員のうち12人が、物品や機材などの物的資源不足の改善を挙げた。

以上、本研究により、5Sはセネガルの保健医療施設の利用者満足度を向上させる上で有効であることが示された。また、物的資源不足といった、職員のモチベーションを大きく下げる要因が存在する施設でも、5Sがモチベーション向上に貢献する可能性が示唆された。いくつかの低・中所得国が保健医療サービス向上のための戦略として5Sを取り入れているが、これまで、その適用性については検証されていない。本研究は、セネガルにおいて、物的資源が乏しい施設を対象に5Sの適用性を検証した最初の研究であり、そこから得られた知見は有益なものであることから、本研究は学位の授与に値すると考えられる。